

ふるさとちゅう

【第14回】西国街道を歩きませんか(9)

再発見

府中大橋を広島駅方面へ渡ると、県道84号東海田広島線を挟んで右手(北側)は府中町大須一丁目、左手(南側)は広島市東区矢賀新町になります。この県道の北側の歩道を歩き、広島高速2号線下の交差点を過ぎて、約10mで広島信用金庫の駐車場前を斜め右に入る道があります。この道は旧府中村と旧矢賀村との村境です。現在も、その道からイオンモール広島府中側(北側)が府中町大須二丁目、反対側は広島市東区矢賀新町になります。



広島町新開絵図(部分)広島市文化振興課所蔵
(常本貞次氏寄贈)に筆者が加工



矢賀新町バス停前の石碑

じく西に直進します。現在は建物が多くなり景色も変わりましたが、かつては府中大橋を渡ると正面の岩鼻(矢賀にあった巨大な岩)に向け一本道でした。府中大橋と岩鼻の間に一里塚があり、そこに塚松が二本立っていました。この一里塚は広島城下から江戸に向けて最初の一里塚で、現在の推定地である矢賀新町バス停(広電バス・府中方面)の前に、矢賀学区社会福祉協議会により石碑が建てられました。

このあたりの様子がよくわかるのが、享保13(1728)年に描かれた「広島町新開絵図」です。板橋であった頃の往還橋(府中大橋)、塚松、大須新開、岩鼻などが描かれています。大きな目印であった岩鼻は、現在では削り取られ、スーパーや住居が建ち、昔の面影はありません。

筆者は昭和40年代半ばに府中町から広島市内の高校へ自転車でのそばを通過して通学していました。迫力ある岩の姿が印象的でした。この岩鼻は、『芸藩通志』の第141巻「安芸国名勝部」では「矢賀奇巖」として次のとおり紹介されています。

「城下の東に小山がある。尾長山東南で俗に巖鼻と呼び、全山に岩が幾重にも重なっている。昔、海に面した崖で山の中心が露わになったものである。今、松の木が茂り珍しい風景となっている。(筆者現代語訳)この辺りには茶屋があり、旅人はしばしの休憩をしたようです。西に向かうこの先は尾長、三本松、猿猴橋、京橋、広島城下へと進みます。

今回で府中町内の西国街道の紹介は終わりです。みなさん時間を作って一度歩いてみてください。

府中町文化財保護審議会委員
菅 信博

パッとカンタン!

朝パッ君のかんたんレシピ

きのこは
お好みのものでOK♪



レンジで簡単! 楽々レシピ

鮭とキャベツの重ね蒸し



材料

- ・鮭(切り身) : 4切れ
- ・酒 : 小さじ2
- ・キャベツ : 1/4玉
- ・舞茸 : 小1パック
- ・酒 : 大さじ1
- ・バター : 大さじ1
- ・しょうゆ : 小さじ1
- ・塩昆布 : 5g
- ・塩・醤油 : 少々

作り方

- ① 鮭は一口大に切って、酒をかける。しばらくおき、水気を拭く。
- ② キャベツは食べやすい大きさに手でちぎる。舞茸は手でさく。
- ③ 耐熱容器にキャベツ、舞茸、鮭の順に重ねて入れる。
- ④ ③にAをかける。
- ⑤ ふんわりラップをかけ、電子レンジ600wで7分加熱する。

レシピ提供団体 お好み体験班
健康推進課 ☎286-3257